

新型コロナによる感染拡大対策 「神戸換気シミュレーションプロジェクト」

神戸商工会議所

■内容：

新型コロナウイルスの感染拡大によって、院内感染や建物内感染が全国で発生し、社会問題化している。こうした中、公的施設や不特定多数が集まる施設を対象に、ウイルスが拡散する様子などをシミュレーションによって可視化し、無計画な換気による汚染リスクの防止や“3密”解消の取り組みを支援する。本年度、調査を希望する数か所の施設を公募し、実証事業として実施。関心のある参画企業のビジネスチャンスにも繋げる。

■方法：

- 地元の流体解析サービス企業、IT 企業、換気システム提供企業等、学識経験者をグループ化するとともに、施設内でシミュレーションを希望する公共施設・民間施設を募集する。
- FOCUS スパコンや独自のソフトウェアなど AI 技術を活用し流体解析を行う(株)CAE ソリューションズが施設の状況をシミュレーションし、可視化。
- 学識経験者によるコメントを付記したシミュレーション結果を施設及び PJ メンバーに共有（必要に応じて会合を設定し、情報共有）。PJ メンバーの地元企業（及び学生）は改善提案を検討する。
- 商工会議所を通じて改善提案を施設側に提供。提案の受入れ可否については施設側が判断する。
- コーディネーターは報告書を取りまとめ、神戸商工会議所に提出。

調査対象施設

■対象施設の条件

以下の全ての条件に該当し、不特定多数が利用する兵庫県内の公的施設や民間施設。

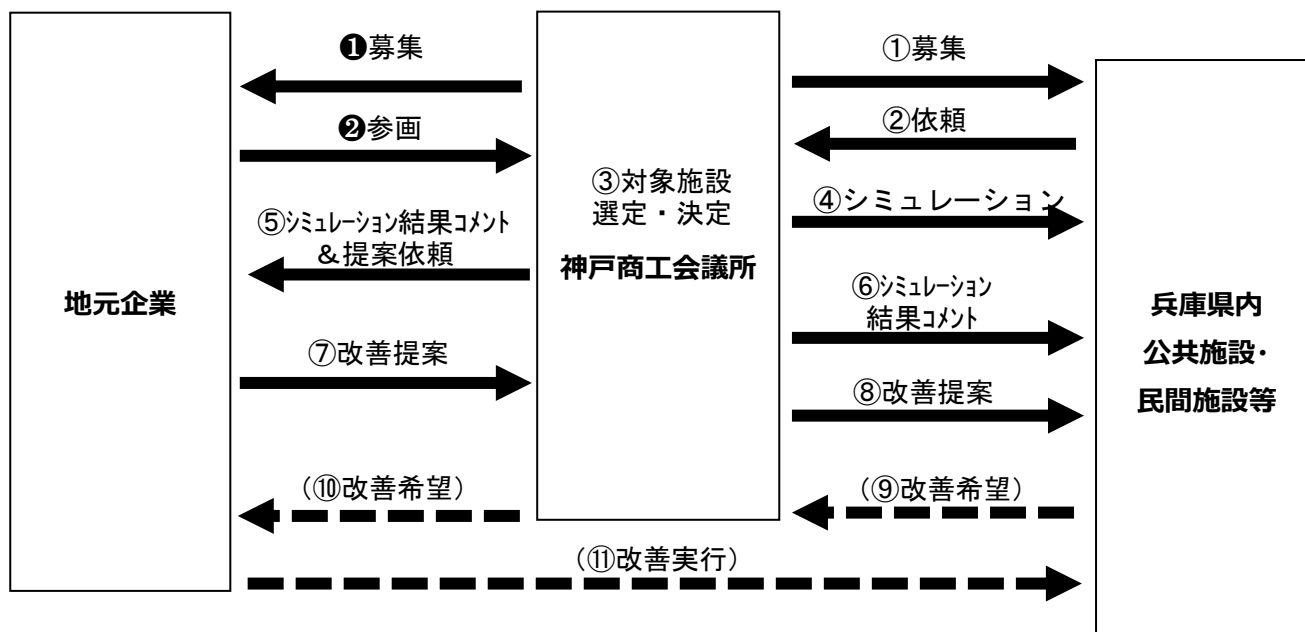
- ①建物の CAD データが提供できる。
- ②空調設備の情報（メーカー、性能、タイプ等）が提供できる。
- ③結果の公表や現地での調査等に協力できる。

（例）・医療機関 ・スーパー等小売店 ・体育館・音楽館 ・介護施設
・鉄道車内・船舶内 ・ホテル、旅館 など

■施設側が負担する費用：10,000 円（税抜）

■申込〆切：2020 年 6 月 12 日（金）

※必要データの整備状況や事業効果等を勘案し、5 か所程度の対象施設を選定する。



■主 催：神戸商工会議所

■共 催：産業技術総合研究所 人工知能技術コンソーシアム神戸支部 WG

■プロジェクトメンバー

学識経験者

国士舘大学 理工学部 建築学系 教授 南 泰裕 氏

芝浦工業大学 工学部 建築学部建築学科 教授 西村 直也 氏

コーディネーター

シミュレーションシステムコンサルタント 石原 慎一 氏

シミュレーション技術

CAE ソリューションズ FOCUS テクニカルセンター所長 田倉 啓之 氏

関係団体

(公財) 計算科学振興財団

民間企業：本プロジェクトの趣旨に沿い、施設への改善提案等が可能な会員事業所

<決定済>

- ・太昭電設株式会社
- ・ダイキン HVA ソリューション近畿株式会社
- ・株式会社みのりアソシエイツ

<これから調整>

- ・スパコン開発企業（富士通、NEC）
- ・地元大学（シミュレーション関連）
- ・空調システム関連企業
- ・建物設備関連企業
- ・建設関連企業 など提案関心のある地元企業

■今後のスケジュール

5月11日（月） 記者発表

5月12日（火） 関係者 ZOOM 打ち合わせ

～6月12日 シミュレーション施設募集、参画企業募集（メール、FAX、WEB 等）
（対象施設決定後、随時実施）

■その他：

- ・実証事業終了後も、ニーズに応じて有償で事業継続する方策を検討する。

以 上